

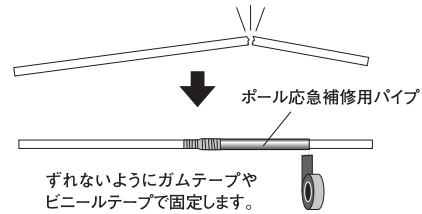
■**破損時の対応** フィールドで本テントが万一破損した際には以下の通り応急処置をしてください。

フレームが折れた際

ポール応急補修用パイプの使用方法

テント設営時には強風や豪雪などの理由によりポールが折れる場合があります。副木を添えて応急処置をすることもできますが、このテントの付属品であるポール応急補修用パイプを用い応急処置も可能です。

下山後は販売店に修理を依頼してください。



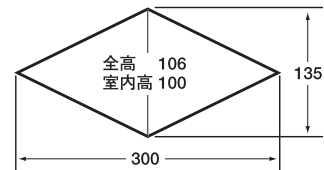
■**アフターケア** 間違ったメンテナンスや保管方法はテントの寿命を縮めます。使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

お手入れ方法・保管方法

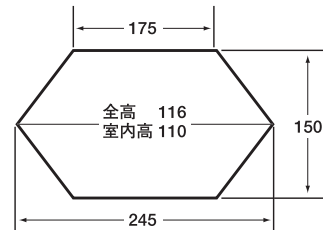
- 使用後は、泥汚れなどをあらかじめ水洗いし、陰干して乾燥後に収納してください。汚れたまま、あるいは濡れたまま長時間放置すると色移りやカビの発生する可能性があり、また生地も劣化しやすくなります。
- 長期の使用により、フライシートやグラウンドシートなどの撥水性能（水を弾く力）が低下した場合は別売のS.R.スプレー等の撥水スプレーをご使用ください。
- ドライクリーニングや洗濯機による洗濯はできません。
- ジッパーの動きが固くなりましたら、スムーズライダー™やローソクの口を塗ると回復します。
- ポールやペグは汚れを濡れタオルで拭き取った後、機械油を薄く塗っておきます。

■**重量および寸法** 図中の単位はcmです。

●#1122276モノフレームシェルター ダイヤ  
総重量1,240g



●#1122277モノフレームシェルター ヘキサ  
総重量1,530g



モンベルでは品質管理に万全を期しておりますが、万一不良が生じた場合、お買い求めの販売店を通してご返送ください。無償修理、もしくは交換させていただきます。ただし間違ったご使用や、製品不良以外の原因による故障につきましては有償修理となります。

# Monoframe Shelter

## Diamond & Hexagon



### モノフレームシェルター [ダイヤ] & [ヘキサ]

軽量・コンパクトを最優先に開発された  
極めて高い携行性と優れた居住性を誇る超軽量テント

# Monoframe Shelter

## モノフレームシェルター ダイア&ヘキサ

この度は「モノフレームシェルター」をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

この商品は、少しでも荷物を軽く小さくおさたい方のために開発された、超軽量コンパクトなシングルフレーム構造のテントです。抜群の携行性を誇り、ツーリングや無雪期の山行、沢登りなどのテントとして、また非常用のビバークシェルターとして最適です。

ご使用の前にこの説明書をよくお読みいただき、部品等の確認をしてください。なお、ご不明な点などございましたら、販売店もしくは弊社コンシューマ・サービスまでお問い合わせください。この説明書は大切に保管してください。

### ■安全上のご注意

テントをご使用になる前に必ずお読みください。

#### テント使用上の注意

- テント本体生地は熱に弱い性質を持った合成繊維ですので、たき火やストーブなどが近づかないようお気をつけください。
- ストーブを使用する際は、ベンチレーターなどで必ず換気を行ってください。
- テントとして使用の際には必ずベグで固定してください。砂地や雪上では状況に応じたベグ等が別途必要です。
- テント設営地はできるだけ平坦地を選び、危険のない場所を選んでください。
- ナイロンは太陽光線による紫外線劣化の影響がありますので、数ヶ月張ったまま放置しますと著しく寿命が縮まります。また、硫黄ガスが発生する温泉地等でも寿命を縮めますのでご注意ください。
- ベンチレーターや出入口などの換気パネルを常に開け、換気には充分ご注意ください。

#### 火気取扱いに関する注意

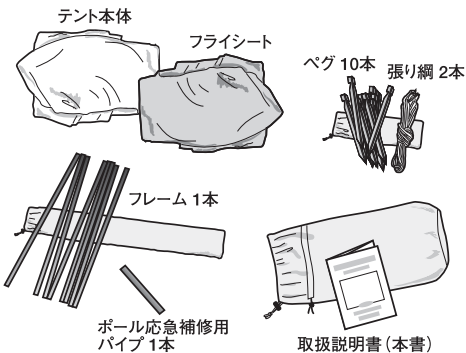
安全なキャンプのために以下に従ってください。

- 天井付近で火気調理等をしないでください。
- 調理器具等の使用は取扱説明書通り、安全に行ってください。
- 調理器具等に子供を近づけないでください。
- 出入口に物を置かないでください。
- 設営場の消火設備等を確認してください。

### ■仕様

実際にテントをご使用になる前に部品の欠品が無いことをご確認ください。

#### 構成部品および内容明細



#### 【ダイア・ヘキサ】

- キャンピー:15デニール・バリスティック エアライト® (経糸15デニール/緯糸30デニール・ナイロンリップストップ地) 通気撥水加工
- グラウンドシート:40デニール・リップストップ・ナイロン (耐水圧2,000mmウレタン・コーティング)
- フライシート:30デニール・リップストップ・ナイロン (耐水圧1,500mmウレタン・コーティング)
- フレーム  
φ8.8mm7001アルミ合金 (ポール応急補修用パイプ1本つき)

### ■テント設営手順

新しいテントに慣れるため、実際にフィールドへ出かける前に、試し張りされることをお勧めします。

#### 1・設営場所の選択

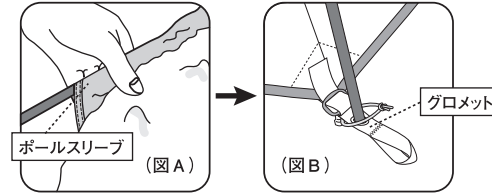
本テントは山岳用テントとして設計されています。テントの設営地に指定されている場所でも、大雪、台風などの強風や豪雨などの厳しい自然条件下では、十分に注意し設営してください。また稜線上や大木、広い草原では落雷にも注意してください。

設営後、気象予報などで風が強くなりそうな情報があれば、石や雪を積み重ねてまわりを囲って防風壁を作ってください。  
なお、設営前に出入口は風下側を選びます。冬場は北半球においては北西風が吹くことを考慮してください。

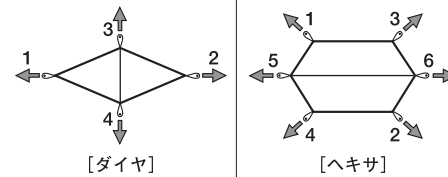
#### 2・テント本体の組み立て

(1) スタッフバッグに入った構成部品を全て取り出し、スリーブのついている面を上にして広げます。強風時には、この時風でテントが飛ばされないよう注意してください。

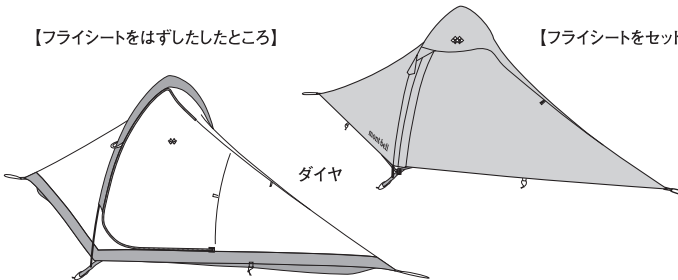
(2) フレームを中に通っているショックコード通りにジョイントを接続し組み立て、フレームをポールスリーブに差し込みます(図A)。この時フレームは最も長い状態となりますので、周囲に障害物や人がいないかを注意して下さい。反対側から出たフレーム先端を底部ナイロンテープのグロメット(鳩目)に固定し(図B)、フレームを湾曲させてもう一方の先端も固定します。



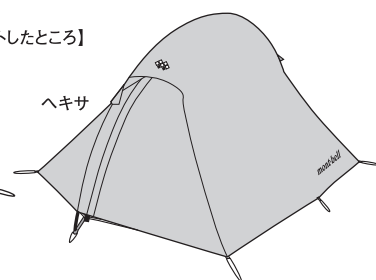
(3) テント本体の各コーナーに設けられたループをベグ留めします。(この時、下図の順序でセットすると設営が容易になります。) ※付属のベグが使用できないガレ場や砂地では別売りのメッシュアンカーなどを用いて固定してください。



【フライシートをはずしたところ】

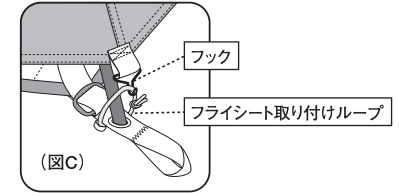


【フライシートをセットしたところ】



#### 3・フライシートのセット

テント本体とフライシートの出入口の位置を合わせ、フライシートをかぶせます。フライシート裾のフック(2箇所)をテント本体底部ナイロンテープのフライシート取り付けループに掛けます(図C)。残りのループは、テント本体を固定しているベグに掛けてください。



#### 4・テントの固定

張り綱は風が吹くことを想定して必ず取り付けください。ポールスリーブの2カ所から張り綱をとりまわす。付属の張り綱にはランナー(自在金具)がついており、ランナーを通したループをベグ又は別売りのメッシュアンカーなどにかけて長さを調節します。フライシート各辺中央のループを固定することでより防風性が高まります。なお、このテントにハンマーは付属していません。

モノフレームシェルターは以下の組み合わせでも使用可能です。用途に応じて使い分けてください。

- 1・フレーム&テント本体 ..... ※1)
- 2・フレーム&テント本体&フライシート
- 3・フレーム&フライシート ..... ※2)

※1) テント本体には超極薄素材を使用しておりますので、紫外線劣化を抑えるため、直射日光のもとではフライシートとの併用をお勧めします。

※2) テント本体を使用せずにフライシートを使用する際はポールを差し込むナイロンテープを本体から外して使用する必要があります(図D)。また、張り綱はフレームから直接とりまわす。

